



飛ばす前の注意! ペーパーグライダーを飛ばす時は、必ず、次の事項をまもろう!

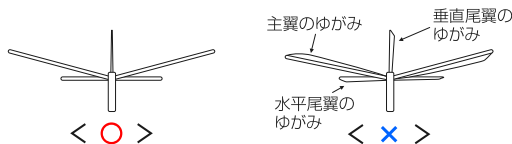
ペーパーグライダーが頭や目に当たると、思わぬ大けがをすることがあります。飛ばすときには、必ず次のことを守ってください。

- 人や動物に当たらないように、周りに十分気を配って飛ばしてください。人の多いところでは飛ばさないでください。
- 道路では、絶対に飛ばさないでください。
- カタパルトシューターで飛ばすとスピードが出るので、団地の広場や小さな公園では絶対にカタパルトシューターは使わないでください。
- ペーパーグライダーが木や屋根に引っ掛かった場合は、危険ですから、登って取らないでください。
- 小さなお子さんがペーパーグライダーを飛ばす時には、大人の方が監督していただきますようお願いいたします。

1. テスト飛行の前に機体チェック

機体をチェックしよう!

飛ばす前に、横や前から機体をよく見て、胴体や翼が曲がっていないか、ねじれたり傾いたりしていないかをチェックしよう。

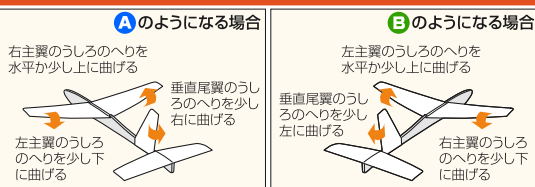
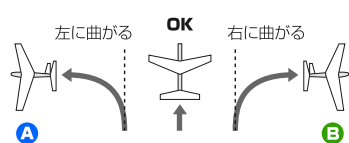


2. テスト飛行

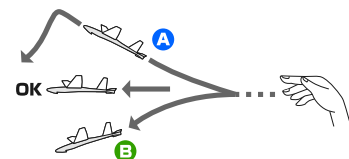
さあ、ペーパーグライダーをまっすぐ押し出すように飛ばしてみよう!

まっすぐなめらかに飛ばなければ、下の図を見て機体を少しずつ調整してみよう。まっすぐなめらかに滑空するまで、何度もテスト飛行と調整をくり返そう。

Check Point 1 左右に曲がる時の調整



Check Point 2 機首の上げ下げの調整



3. 飛ばし方

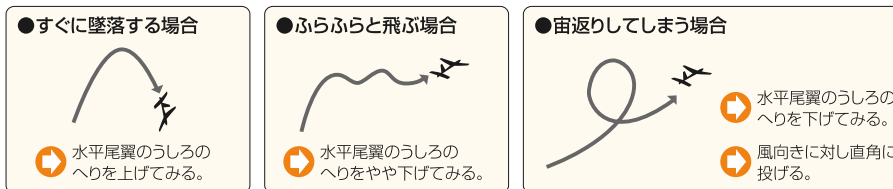
ペーパーグライダーを空高く飛ばしてみよう!

テスト飛行でうまく調整できたら、外に出て空高く飛ばしてみよう。飛ばす時は周囲に十分注意して、楽しく飛ばそう。ペーパーグライダーの飛ばし方には、ハンドランチ(手投げ)とカタパルトシューターを使った2種類の飛ばし方があるぞ。

※ ペーパーグライダーを飛ばすには、無風または風の弱い日が適しています。

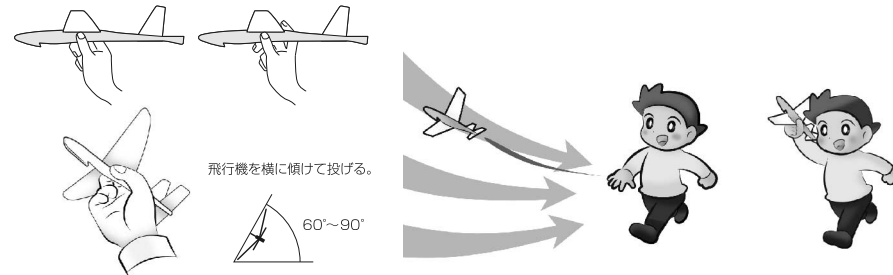
調整

すぐに落ちたりしてしまう場合は、もう一度試験飛行と調整を繰り返してみよう。



ハンドランチ(手投げ)

ハンドランチで飛ばす場合は、主翼の下の胴体を親指・人差し指・中指の3本で持ち、風に向かって投げ上げるとより飛ばすことができる。人差し指を主翼のうしろのへりにかけて、スナップを利かせて投げる方法も効果的だ。



カタパルトシューター

カタパルトシューターを使うとハンドランチより簡単に高く飛ばすことができる。親指と人差し指で主翼の下を持つか、または胴体の一番うしろの下部を持って発射させよう。

●カタパルトシューターの作り方

